未来へつなごう！スマイルトーク

～持続可能なまちを目指して～

1

R7.9.24

財政非常事態宣言

2

碧南市って

裕福な市じゃないの？

3

様々な要因がある

物価高騰

税収減

公共施設維持費増

人件費増

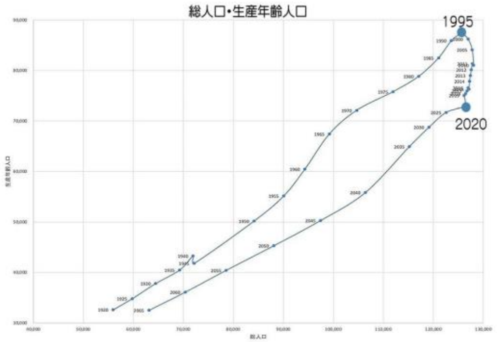
高齢化

人口減少

扶助費増

4

① 人口減少(全国)

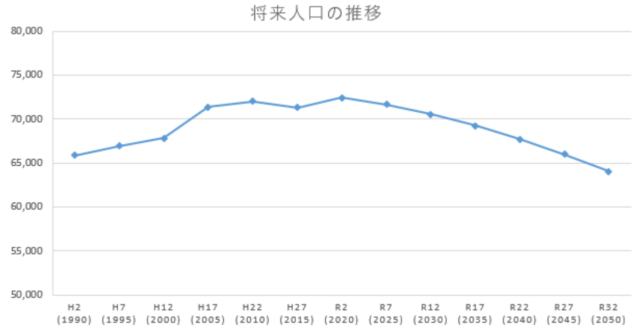


【資料提供】
四日市大学 岩崎教授

→30年前がピーク、今後も減っていく

5

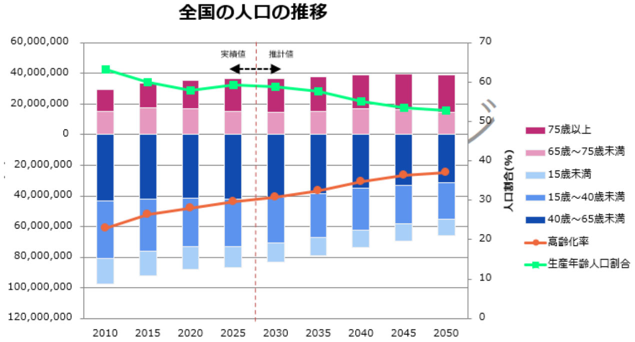
① 人口減少(碧南市)



→ 碧南市も例外ではない

6

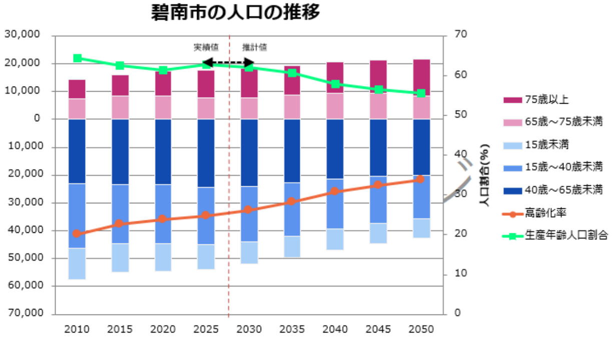
② 高齢化(全国)



→ これからどんどん進んでいく

7

② 高齢化(碧南市)



→ 碧南市も例外ではない

8

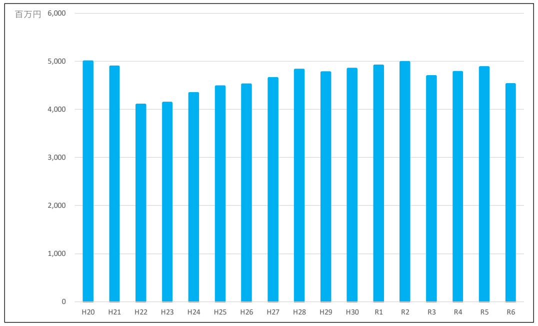
人口減少・高齢化社会

現役世代が減る　→　税収減

高齢者が増える　→　扶助費増
（介護給付費や医療費など）

9

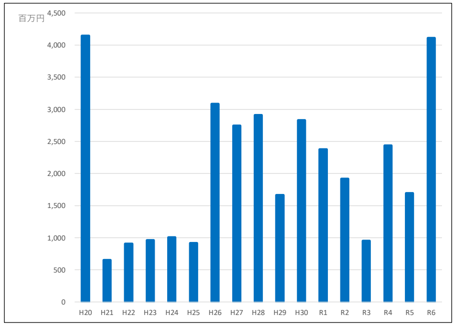
③　税収（個人住民税）



→　伸びていない

10

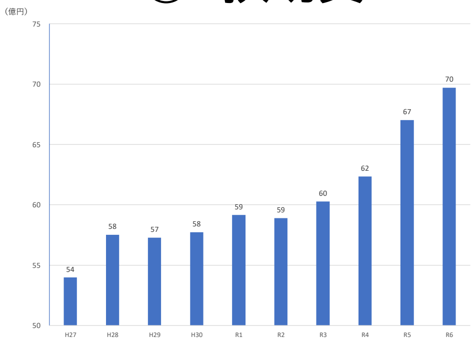
③　税収（法人住民税）



→　企業の業績に影響し、不安定

11

④　扶助費



→　年々増加、今後も増加

12

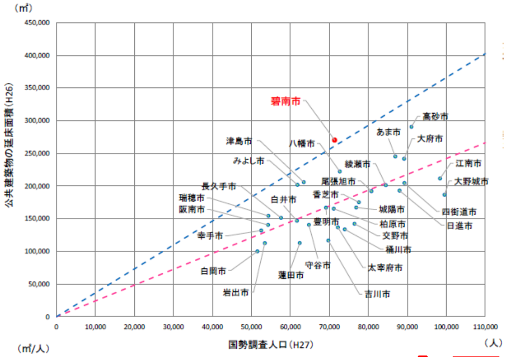
⑤ 公共施設

碧南は公共施設が多い

102施設
延べ床面積268,335㎡

→1人あたり　3.79㎡(≒畳2.5枚)

⑤ 公共施設



→ 同規模の市の中だと **全国1位**

⑤ 公共施設

碧南市には特徴的な施設が多い

水族館、明石公園、美術館
無我苑、あおいパーク
市民プラザ、まちかどサロン…

⑤ 公共施設

特徴的な施設にかかる経費(R6)

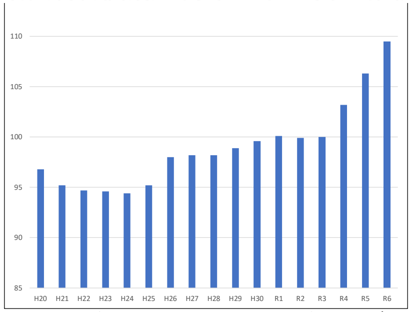
海浜水族館	2億3,900万円
藤井達吉現代美術館	1億6,900万円
あおいパーク	1億6,800万円
芸術文化ホール	1億3,500万円
無我苑	5,700万円

その他にも市民プラザなども…

→約11億5千万円/年の経費

⑥ 物価高騰

消費者物価指数（令和2年基準）の推移

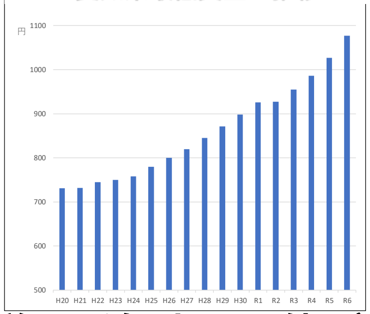


→ ここ数年で急激に伸びている

17

⑦ 人件費の増加

愛知県最低賃金の推移



→ 同様に近年大きく伸びている

18

碧南市は公共施設が多い

↓

物価高騰・人件費上昇の
影響を受けやすい

19

そして、

最も影響を受けているのが、

市民病院

→ 全国公立病院の83%は**赤字**（2024）

20

診療報酬が

物価高騰・人件費の上昇に
追いつかない

→維持するために多額の資金投入
（令和7年度は約17億円（基準外））

物価
高騰

税収減

公共施設
維持費増

人件費
増

高齢化

人口
減少

扶助費
増

→　今後もっと加速するかもしれない

これまでの高い財政力

↓

・充実した公共施設
・高いサービス水準

その財政力を背景に

還元してきた多くの独自サービスは

交付税の対象外

税収の増加は見込めない

支出はこれまで以上に増える

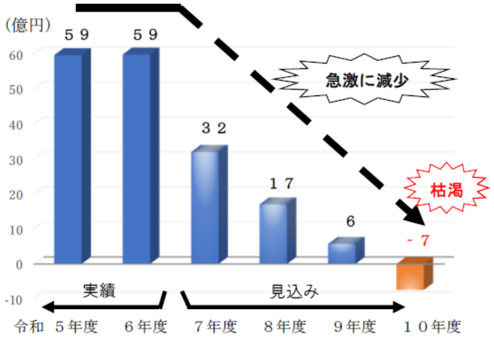
25

かつては財政力指数
全国2位になったことも(H15)

(今も交付税の不交付団体)

26

このまま続けると貯金は枯渇



27

R7.9.24

財政非常事態宣言

28

これから目指すもの

持続可能な碧南市

29

そのための目標

まずは、令和10年度末に

財政調整基金（貯金）20億円の確保

30

なんで20億円？

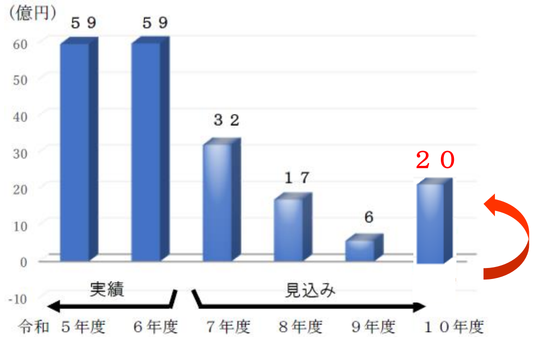
↓

大災害やリーマンショックなどの
不測の事態にも対応していくため

（最低限）

31

3年間で27億円を
確保する必要がある



32

そのために何をすればよい？

33

公共施設を
少し減らす必要がある

高いサービス水準を
見直す必要がある

34

そして

市民病院の経営改善が必要

35

公共施設を
少し減らす必要がある
↓
基本的な考え方

同一目的施設の廃止・休止
大規模修繕の一部凍結

36

高いサービス水準を
少し減らす必要がある
↓
基本的な考え方
西三河9市の平均に見直す
※全国的には高い水準

37

具体的には？

6つの緊急行財政対策
（令和8～10年度）

38

1. 市民病院緊急経営対策

2. 国庫補助金・県補助金
その他の財源確保

3. 標準的な市民負担の見直し

39

4. 公共施設等の在り方の見直し

5. 事務事業等の見直し

6. 職員配置の見直し

40

1. 市民病院緊急経営対策

・医師の精査
・不採算診療科の在り方の検討
・夜間救急体制の制限の検討　など

→市の資金投入（赤字補填分）の削減

41

2. 国庫補助金・県補助金 その他の財源確保

・福祉系の相談支援事業の見直し
・企業版ふるさと納税の確保

→約1億円の収入増・削減

42

3. 標準的な市民負担の見直し

・受益者負担の適正化
・無料施策の見直し
・都市計画税の見直し

→約8.3億円の収入増・削減

43

3-1. 受益者負担の適正化

西三河9市平均

・児童クラブ利用料

2,000円～3,000円／月の
利用料見直し

（令和8年7月から）

44

3-1. 受益者負担の適正化

実費徴収の原則

・小中学校、幼稚園、保育所等の
給食費の改定

60円～92円／食の見直し

（令和8年4月から）

3-1. 受益者負担の適正化

西三河9市平均

・小中学校みどりの学校

無料施策見直し

無償 → 小：5千円程度／人
中：8千円程度／人

（令和9年度から）

3-1. 受益者負担の適正化

西三河9市平均

・公共施設の使用料・手数料

22種類（文化・スポーツ施設など）

（令和9年4月からの予定）

公共施設の使用料・手数料

西三河9市平均

・受益者負担は50％以下

・上限金額は現行の1.45倍まで

・他市在住者の利用は市民の**2倍**

3-1. 受益者負担の適正化

西三河9市平均

・社会教育団体使用料減免の廃止

※社会教育関係団体に登録するだけで使用料の半額減免が受けられるのは碧南市だけ

（令和8年度は減免継続
その後については検討中）

49

3-2. 無料施策の見直し

無料施策見直し

・可燃ごみ袋の有料化

※県内で無料なのは
碧南市と東海市だけ

（令和9年4月から）

50

可燃ごみ袋の1枚目から有料化

無料施策見直し

	現　行	令和9年4月1日～ 令和12年3月31日	令和12年4月1日以降～
価格/ℓ	1円	0.25円（現行の約1/4）	0.5円（現行の約1/2）
販売価格	大10枚入 450円 中10枚入 300円	大10枚入 110円 中10枚入 70円 小10枚入 50円（追加）	大10枚入 220円 中10枚入 150円 小10枚入 100円

51

3-2. 無料施策の見直し

無料施策見直し

・高齢者、障害者入浴サービスの見直し（48枚無料優待券廃止）

（令和8年4月から）

52

高齢者、障害者 入浴サービスの見直し

無料施策見直し

48枚の無料優待券を廃止し、
一部利用負担(半額優待)を導入

53

3-3. 都市計画税の見直し

西三河9市平均

0.25% → 0.3%への見直し

※2.3億円／年の増

（令和9年度から）

54

3-3. 都市計画税の見直し

西三河9市平均

0.30% 岡崎市、刈谷市、安城市、知立市、高浜市、みよし市
0.28% 西尾市
0.25% 碧南市、豊田市

※H19年度に0.3%→0.25%に下げている
今回はその税率を元に戻す

55

4. 公共施設等の在り方見直し

・同一目的施設の廃止・休止
・公共施設総合管理計画改定まで大規模修繕の一部凍結

→約8. 5億円の削減

56

4-1. 同一目的施設の廃止・休止

・市民図書館中部分館の廃止

県内人口同規模で2つ以上は
愛西市、田原市のみ（合併影響）

築56年で施設老朽化が進む

（再検討中）

57

4-2. 公共施設総合管理計画改定まで大規模修繕の一部凍結

・中学校（※長寿命化）
・南部市民プラザ
・あおいパーク

58

5. 事務事業等の見直し

・事務事業の廃止、休止、縮小等
・外郭団体等の在り方の見直し
・一般会計繰出金の見直し

→約26. 7億円の削減

59

5-1. 事務事業の廃止、休止、縮小

・各種補助金の見直し

・イベントの見直し

・各種工事の見直し

60

6. 職員配置の見直し

・開庁時間の変更
・職員配置の見直し(着手)

→約2億円の削減

開庁時間の変更
（市役所・保健センター）

5月7日から9時～16時に変更

※住民票など証明書の発行手数料
コンビニ交付は半額(R8.5～R9.3)

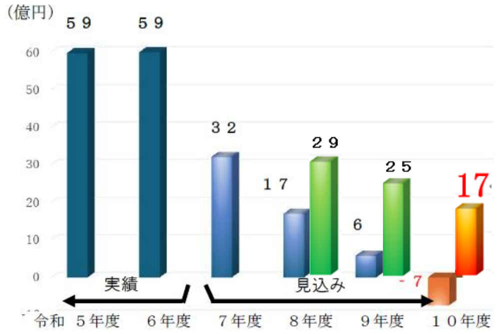
→行かない窓口の推進

目標は令和10年度末に
財政調整基金20億円の確保

↓

緊急行財政対策を
実施した結果…

行財政対策後の財政調整基金



→これでもまだ約3億円足りない

市民生活への影響は大きい

負担が増えるものも多い

65

でも、次世代に負担を

残すわけにもいかない

66

今まで出来なかったこと

↓

右肩上がりの時代からの
シフトチェンジ

67

市と市民が一緒になって

持続可能な碧南市を目指したい

68